

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
33000	X-21-B-2-330001			【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
ロシア史概説	アレクサンドル ブラーソル	2	後期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

このコースの目的は、ロシア人の直接の先祖である東スラブ部族の結成時代から 1917 年の社会主義革命までのロシア史においてもっとも重要な出来事、社会の動きとその意義について考えながら、ロシア史の重要な点を紹介することである。ロシア社会の歴史的発展に自分の名を残した皇帝や為政者や大将などの活躍について考察していきたいと思う。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】建国時代 キエフ・ルーシ
【前・後】予習復習 4 時間

第 2 回

【授】分裂時代とモンゴル支配
【前・後】予習復習 4 時間

第 3 回

【授】モスクワ公国の台頭
【前・後】予習復習 4 時間

第 4 回

【授】イワン雷帝の恐怖時代
【前・後】予習復習 4 時間

第 5 回

【授】動乱時代とロマーノ不王朝の成立
【前・後】予習復習 4 時間

第 6 回

【授】ピョートル大帝 「玉座のうえの革命家」
【前・後】予習復習 4 時間

第 7 回

【授】ピョートルが作った都（ビデオ教材）
【前・後】レポート提出（作成 2 時間・予習 2 時間）

第 8 回

【授】女帝時代・宮廷クデターハイ時代
【前・後】予習復習 4 時間

第 9 回

【授】エカテリーナ 2 世の統治
【前・後】予習復習 4 時間

第 10 回

【授】エカテリーナ時代の日露交流（ビデオ教材）
【前・後】レポート提出（作成 2 時間・予習 2 時間）

第 11 回

【授】アレクサンドル 1 世とナポレオン戦争
【前・後】予習復習 4 時間

第 12 回

【授】ニコライ 1 世時代の「社会安定性」
【前・後】予習復習 4 時間

第 13 回

【授】アレクサンドル 2 世の大改革
【前・後】予習復習 4 時間

第 14 回

【授】アレクサンドル 3 世の統治と経済成長
【前・後】予習復習 4 時間

第 15 回

【授】20 世紀初頭・革命時代
【前・後】予習復習 4 時間

第 16 回

【授】期末テスト
【前・後】テストの準備 4 時間

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							30
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

授業内小テストやレポートのフィードバックとして特に優秀な答案を公表し、全般的な講評を行う。

教科書参考書

ピエール・パスカール著 ロシア史 白水社

受講に当たっての留意事項

学期末に筆記試験を行う。合格するには 66 %以上の出席率と 2 回のレポート提出が必要である。毎回かなりの量の資料を配布する。授業を休んだ生徒は自己の責任で資料をそろえること。

学習到達目標

高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習